

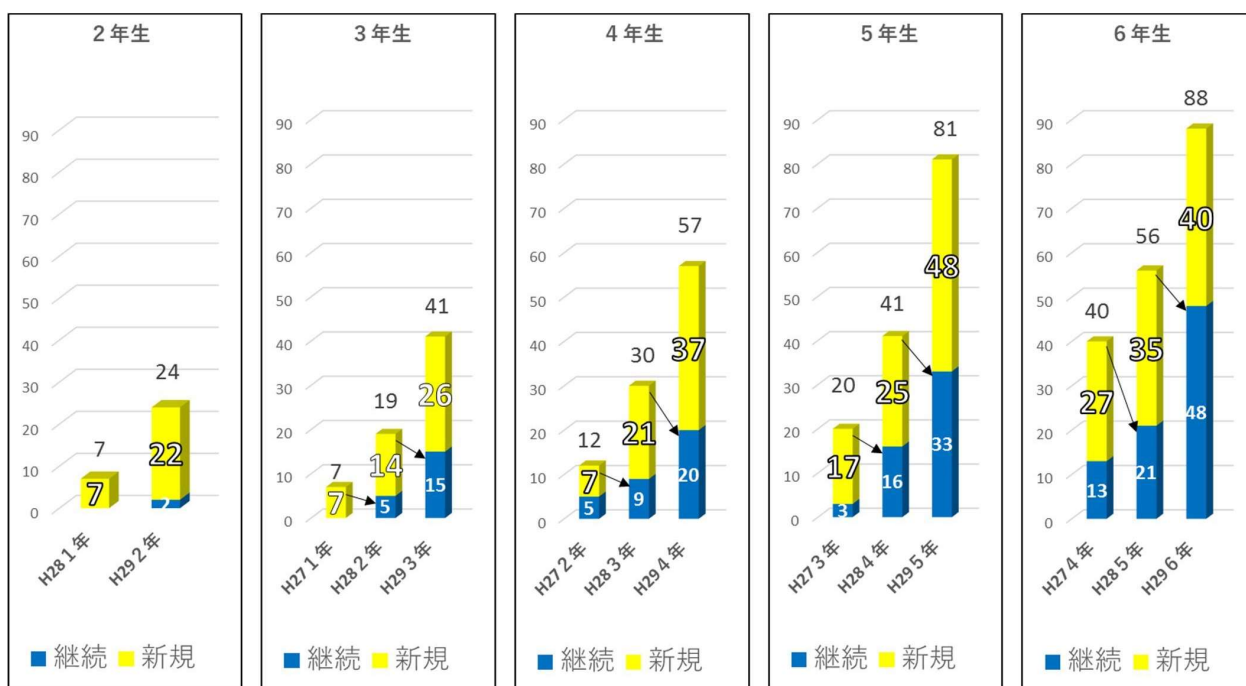
第2回 生徒指導審議会

# 今後の不登校対応の 取組について

平成31年3月5日（火）

## 「継続数」・「新規数」という見方

島根県の不登校児童生徒数の推移を継続数と新規数で見た場合、不登校児童の何人かは、翌年度に不登校状態が解消している。



## 「継続数」・「新規数」という考え方

不登校の数を二つに分けて把握する  
「継続数」と「新規数」を区別してその推移をたどると異なる状況が見えてくる。

### 「継続数」

前年度も不登校であった児童生徒の数

### 「新規数」

前年度は不登校ではなかった児童生徒の数



**新規の不登校を抑制する取組が重要**

## 未然防止

不登校という事象に対して学校がまず取り組むべきことは、全ての児童生徒が学校に来ることを楽しいと感じ、学校を休みたいと思わせないような、日々の学校生活の充実です。どの児童生徒も落ち着ける場所をつくること（**居場所づくり**）、全ての児童生徒が活躍できる場面をつくること（**絆づくりのための場づくり**）が鍵になります。



生徒指導リーフ14 国立教育政策研究所

## 「継続数」・「新規数」に着目した取組

不登校児童生徒の取組には、「新規数に着目した取組」と「継続数に着目した取組」があり、それぞれによって取組の対象や主たる取組が異なるため、対応するチーム学校の構成員（「教員のみ」、「教員＋専門職＋関係機関」）も変わる。

	対 象	主たる取組	2つの「チーム学校」
新規数に着目する	すべての児童生徒	集団指導	教員の同僚性をいかした「チーム学校」
	上記のうち兆しの見えた児童生徒	個別支援	
継続数に着目する	前年度不登校であった児童生徒	個別支援	教員に加え、SC、SSW、適指関係者等多職種による「チーム学校」

## 不登校の新規数を抑制する 「魅力ある学校づくり」に取り組む

①「居場所づくり」と「絆づくり」の違いを理解し、  
バランスよく取り組む

②行事だけでなく、授業をはじめとする  
あらゆる教育活動で取り組む



### あらゆる教育活動で「居場所づくり」「絆づくり」

#### あらゆる教育活動で

全ての児童生徒の

**「心の居場所」**

となる学校

そのために

教職員が、児童生徒が安心できる、自己存在感や充実感を感じられる場を提供する。

【安全安心な学校づくり】

全ての児童生徒の

**「絆づくりの場」**

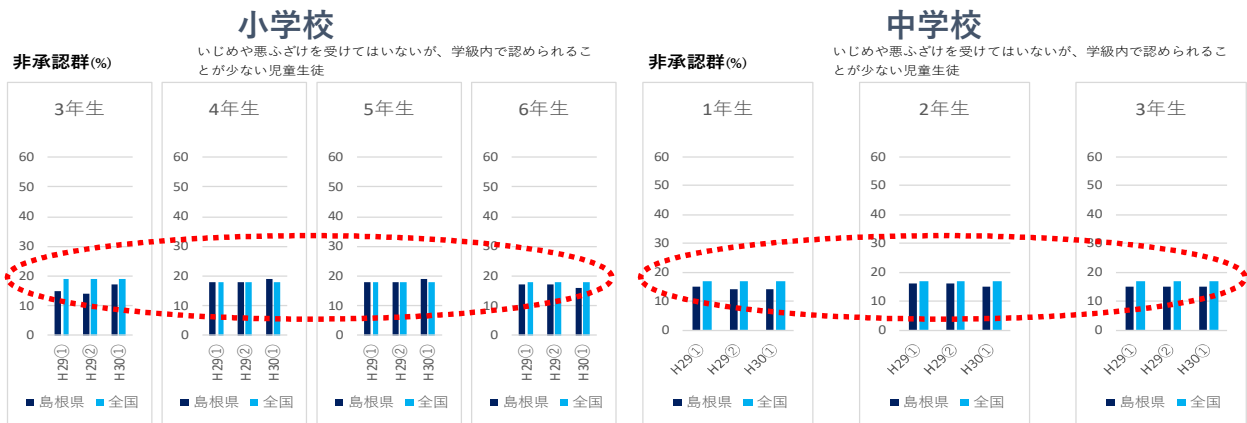
となる学校

そのために

児童生徒が、主体的に取り組む活動を通し、自らが「絆」を感じ取り、紡いでいく。

【場と機会の設定】

# アンケートQU「非承認群」 学級内で認められることが少ない児童生徒



非承認群に着目すると、どの学年も全国平均値と同等程度または下回る傾向にあり、学級内で認められることが少ないと感じている児童生徒が多いことが分かる。

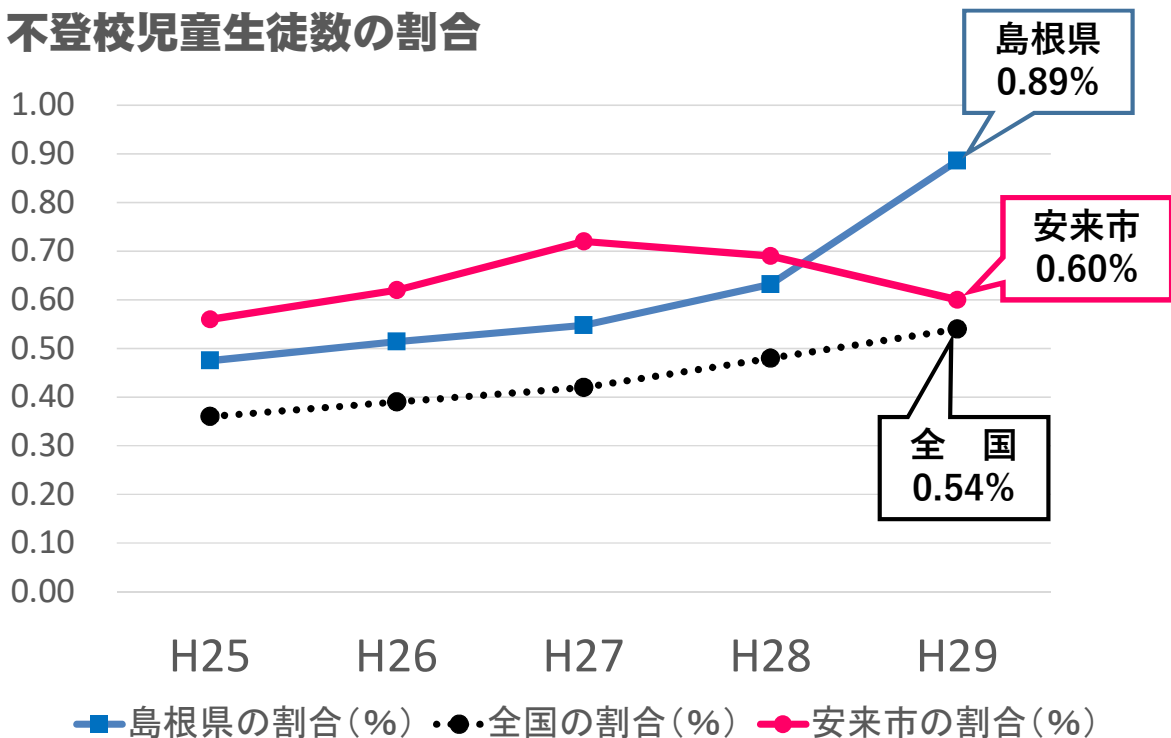
侵害行為認知群、学級生活不満足群は学年が上がるにつれて改善が見られるのに対し、非承認群は学年が上がってもほぼ変化が見られない。

↓

**学校生活の大半を占める授業時間の中で  
「居場所づくり」「絆づくり」を！**

## 不登校児童生徒数の割合（安来市・小学校）

### 不登校児童生徒数の割合



## 「魅力ある学校づくり」取組事例（安来市）

### 魅力ある学校づくり調査研究事業

安来市の取組（平成26年～27年度：一中校区、平成28年度：安来市教育委員会）

#### 不登校に備える ー未然防止ー

##### ■魅力ある学校づくりの推進（授業改善を中心に）

###### 子どもを中心に据えた授業づくり

- ・ 児童生徒の意識調査による年3回のPDCAサイクル
- ・ 授業を通じた集団づくり（居場所づくり・絆づくり）
  - 1 「めあて（見通し）」・「振り返り」のある授業
  - 2 「学びあい」のある授業
  - 3 言語活動を充実させる授業
- ・ 主体的・対話的で深い学び
- ・ 子どもたちが勉強したくなる授業へ

##### ■小中連携における適切な情報提供（配慮が必要な児童）

##### ■アンケートQUの活用（心のサインを見逃さない）

## 「魅力ある学校づくり」取組事例（安来市）

#### 「意識調査」と「PDCAによる事業の推進」

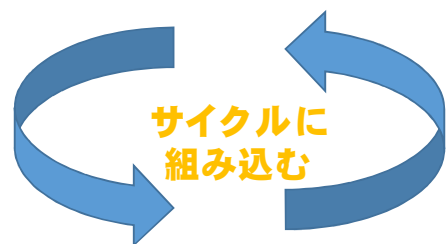
##### ■「意識調査」

###### 主体的な学びをめざした授業改善

- ア 学校が楽しい
- イ みんなで何かをするのは楽しい
- ウ 授業に主体的に取り組んでいる
- エ 授業がよくわかる

###### 安全安心な環境・いじめの未然防止

- オ 叩かれたり、けられたり、強く押されたりした（暴力を受けた）
- カ 暴力ではないが、いじわるをされたり、イヤな思いをさせられたりした
- キ 叩いたり、けったり、強く押したりした（暴力をふるった）
- ク 暴力ではないが、いじわるをしたり、イヤな思いをさせたりした



これらの「学校生活に関する意識調査」を市内全校の小4年生～中3年生に実施し、継続的に分析している。

## 生徒指導の追求テーマ

学校教育において基盤となる  
積極的な生徒指導の推進

生徒指導実践講座

### 研修計画

- 1年目 ▶ 「特別支援教育と生徒指導」の視点から
- 2年目 ▶ 「学級集団づくりと生徒指導」の視点から
- 3年目 ▶ 「授業における生徒指導」の視点から

## 魅力ある学校づくりの推進

魅力あるよりよい  
学校づくり

いじめ、暴力行為等問題行動を許さない  
学校づくり

あらゆる教育活動をとおした「居場所づくり」や「絆づくり」の取組により、学校がどの児童生徒にとっても「意味のある大切な場」となるために、『魅力ある学校づくり』を推進する。